

令和8年5月22日
航空局安全部
無人航空機安全課

ドローンの制度整備に関する国際会議の開催について ～ドローンの飛行のリスク評価手法に関する国際会議を日本で 初開催しました～

令和8年5月18日（月）から5月22日（金）まで、東京都日本橋において、ドローンの制度整備に関する国際会議（JARUS WG）が日本で初めて開催されました。

JARUS（Joint Authorities for Rulemaking on Unmanned System）は、各国当局から構成される、ドローンに係る技術要件や運航要件について議論する組織体であり（2007年に設立）、我が国も含めて現在71ヶ国の当局が参加しています。これまでJARUSの会議は各国で開催されているところ、今般、日本で初めて開催し、過去最多となる人数が参加しました。

JARUSの会議（WG）では、ドローンの飛行の安全性をリスク評価する国際的な指針である「SORA（Specific Operations Risk Assessment）」の改訂が主な議題となっています。SORAに基づくドローンの飛行に係るリスク評価手法は、我が国を含む多くの国で導入されており、ドローンの制度の国際的な調和を図る上で重要な役割を担っています。

今回の会議では、日本から我が国のドローンの制度の概要やSORAの内容を元に作成したリスク評価ガイドラインを適用した飛行事例を発表することで、SORAの改訂に向けて積極的に知見を共有するとともに、各国と積極的に議論を行いました。

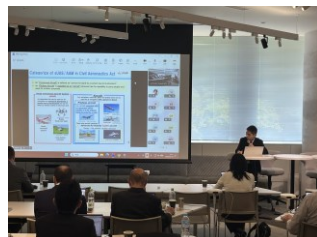
今回の会議開催を通じ、ドローンの国際的な制度整備への関与を一層強化し、ドローンの安全な利活用の拡大に向けて国際連携を推進していきます。

【開催概要】

1. 日時 令和8年5月18日（月）から5月22日（金）の5日間
2. 場所 X-NIHONBASHI 東京都中央区日本橋室町 2-1-1
3. 主な議題
 - （1）空中リスクの定量的評価手法に係る事項
 - （2）空中リスクの低減手法に係る事項 ほか
4. 参加国
約25か国の航空当局、産業界から約60名が参加。（過去最多）



集合写真



日本側発表の様子



会議の様子

【問い合わせ先】

航空局 安全部 無人航空機安全課 伊藤、青木
TEL（直通）03-5253-8615 （代表）03-5253-8111（内線48279、48130）